

# 太陽光発電の売電収益を揚水機場等の維持管理費に充当し、農家の負担を軽減

## <概要>

- 施設の名称：河北潟太陽光発電所（石川県河北郡内灘町）
- 事業主体：河北潟干拓土地改良区
- 発電設備：太陽光発電（愛称：メガソーラーひまわり）  
発電出力 1,900kW  
（排水路横に太陽光パネル約7900枚設置）  
発電電力量 約1,700MWh/年  
（一般家庭約500戸世帯の電力に相当）
- 総事業費：7億3千万円
- 運転開始時期：平成28年9月

## <特徴>

- 河北潟干拓地内の農地に用水を供給する農業水利施設では、近年、老朽化による改修や栽培に大量の水を使うレンコンなどへの作物転換に伴う水需要の増大により、農家の負担増が課題となっていたことから、河北潟干拓土地改良区は、施設の維持管理費軽減のため、太陽光発電所を整備。
- 発電した電気は全量売電し、得られた売電収益は、同土地改良区が管理する揚水機場等の電気代などの維持管理費に充てられ、農家負担を軽減。
- 施設見学などで地域外から訪れる方が増え、交流人口が拡大することで農村の活性化を図る。



【排水路沿いに設置された太陽光発電設備】



【地元小学生による施設見学の様子】